



## 6/16 枚方教組 ICT 環境整備で市教委に申し入れ 端末更新、システム変更による現場の混乱、負担に対応を

枚方教組は、他タブレット端末更新やシステムの変更に伴う現場の混乱や負担に対応するように、市教委に ICT 環境整備を求める申し入れを行いました。(申し入れ文は組合 HP 参照)

### 端末更新、システム変更で現場に混乱と負担が

1人1台端末が更新期限を迎えるために、各学校で更新作業が進められています。端末の一部仕様向上や画面シールも措置されるなどの改善も行われていますが、これに伴い、様々な変更が行われています。

学校現場では、事前に情報が十分伝わっておらず、疑問や質問を市教委とやり取りする機会もなかったため、様々な混乱や、授業や子ども保護者とのやり取りに負担や支障をきたしています。

### 現場から混乱や負担の増大、多くの切実な声が

- 子どもと授業課題のやり取り、オンラインの授業配信対応できていたのが、難しくなった。
  - 外部系授業用 PC がほとんど引き上げられ、学校に2台だけ。授業、デジタル教科書で使いにくい。
  - Teams の授業配信では、参加に一つ一つ「承認」する必要があるため、授業しながらいつ入ってきたか把握が難しく対応しきれない。
  - まなびポケットで子ども、保護者への課題、連絡のやり取りでわかりにくく、こちらからの返信が難しい。このほかにも Teams の仕組みや使い方がわかりにくく、現場で対応しきれなかったり、学校ごと、先生ごとに独自に対応して、運用に混乱が出たり、対応のために負担が大きいという声が出ています。
- 組合の申し入れでは、①学校・教職員へ十分な説明・情報提供や意見や疑問をやり取りする場を設ける。② Google Classroom を一定期間併用できるようにしたり、代替機能のあるシステムを保障する。③オンライン配信ツールを現場の声を反映して対応する。④Microsoft365 以降に伴う現場の負担軽減策を行う。などを現場の声や実状を示しながら求めました。

### 「難しい」で済まされない 現場の混乱、負担に責任持って対応を

市教委としては「従来のシステムで、情報の誤配信などセキュリティ上の課題があった。タブレットの教員間の共有システムと子ども保護者との連絡のシステムを切り離す必要があった」と説明。現場から新しいシステムについての声は上がってきており、「まなびポケット」の運営企業に要望は上げている、新しい代替システム導入には費用が掛かることもあり、現状では対応が難しいとしています。

しかし、教員不足、過密多忙、業務過多の現場にとって「やむを得ない」で済まされる問題ではありません。そもそも、現場と双方向で課題を共有し、現場の参画で課題の解決を目指すのが、本来の対応、組織マネジメントの在り方ではないでしょうか？

このままの状態が今後何年も現場に強いられることになりかねません。「難しい」ということで現場の負担と犠牲を我慢させられるのでしょうか。

全教（全日本教職員組合）の枚方教職員組合のニュースです 枚方教組に加入して学校や働き方を変えていきましょう

## 6/28(土)第3回まなび庵 「探究ってなあに？～みんなで作る探求学習～」

6月28日(土)に今年3回目となる学び庵が、枚方総合文化芸術センター別館で開催され、「探究ってなあに？～みんなで作る探求学習～」をテーマに学習を深めたり、参加者同士の意見交流が行われました。

講師の五常小・磯西さん、招堤小・春名さんから、なぜ探究学習が求められているのか、従来の学校教育の多くの制約の中で、先生たちも学習活動へイメージを変えて、もっと自由に子どもの反応や興味関心から、自分たちから取り組みたいと思える活動をどう引き出していくかが大きなポイントとお話がありました。

また、お二人の前任の東香里小学校での取り組みの中で、子どもたちの具体的な反応や、実際に自分たちで取り組みようとする姿を紹介していただき、参加者にも探究学習へのイメージを広げていただきました。

参加者同士の交流の中では、子どもたちの発想や興味関心をもとに学習活動を引き出していくためにも、今の学校での課題の多さ、多忙さが大きなネックになっている。学校でもっと対応すべき業務や課題を大胆に見直すことも重要。など、様々な声が出されていました。



### 第4回まなび庵 7/19(土) 14:00枚方総合文化芸術センター別館 3階第3会議室

## 「子どもも大人も夢中になるモノづくり講座」

講師 名和秀幸さん(子どもの遊びと手の労働研究会) 申し込み QR

勉強、勉強ばかりで過ぎた1学期。夏休みでほっとした時に、子どものころ夢中になれたモノづくりを先生も、子どもと一緒にできるたくさんアイデアを一緒に作り方から学べます。

学級活動のスキマ時間、支援学級での自立活動、豊かな休み時間の過ごし方、活用できることがいっぱい。明日も学校でやってみたい、作ってみたいと思えるアイデアもたくさん紹介してもらえます。子連れ参加歓迎！夏休みの初めに一緒に楽しめる企画です。どなたでも参加できます。



### 6/21(土)ひらかた子ども会議 総会&講演会

## 「生きづらさを抱える子ども・若者に寄り添って」

～ひきこもり等子ども・若者支援相談センターの取り組み報告～

枚方の市民団体、労働組合、個人でつくる「枚方子ども会議」は6月28日(土)に枚方総合文化芸術センター別館で総会と講演会を開催しました。

引きこもりや不登校の居場所づくり、相談活動に取り組む個人や団体、枚方支援学校の先生、保育所関係者など多彩な顔触れが参加して交流が繰り広げられました。

講演会では枚方の「まるっと子どもセンター」に置かれている「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」の職員の方に来ていただき、枚方市での取り組みについて報告をしていただきました。

小中学校でも不登校が特に多い枚方市で、卒業後も社会参加に困難を抱える当事者や家族への支援の在り方や、具体的な取り組みとしてどんなことが行われているかがよくわかるお話でした。

## 枚方市 欠員、病休等の状況

2025年欠員 府費講師 小・3人、中・4人 市費講師 小・19人

2024年病休 小・中学校で33人(うち精神疾患小中で14人)

組合からの問い合わせで、市教委から病休、欠員等の状況について市教委から情報提供がありました。

(5/1時点、右表参照)

市費講師については、2025年度で、従来から取り上げているように、小学校の市費講師についてダブルカウントの市費講師16人に加え、その他の小学校市費講師で3人の欠員も明らかにされています。

市教委からとしてその対応として「支援員等を14人配置」を措置しているとしています。

府費講師については、2025年度で、小学校で3名、中学校で4名の欠員。

その対応として、中学校で1名の臨時免許による対応が行われているとしています。

2024年度で1か月以上の病休が小中学校で33人(うち精神疾患小中で14人)が発生していたことが示されています。

また、2024年の精神疾患による病気休職者は小中合わせて18名としています(年度またぐ休職者を含む)。

市教委、市長も働き方改革について、「業務量を変えずに担当する範囲を変えるということは、どこかに負担が移るだけとなるため、DXも含め、総量を減らしていく検討が必要となることから、全庁一丸となった取組を計画的に進める。」(枚方市総合教育会議2023年12月資料より)としています。現場では次々と課題や業務が求められており、この提言とはほど遠いのが実感です。

実効ある働き方改革「業務の総量を減らしていく」具体的方策を、現場の声をもとに進めていくべきです。

2025年 未配置状況 (5/1時点)				
	府費講師		市費講師	
	定数内講師	代替講師	少人数学級編成	その他
小学校	0人	3人	16人	3人
中学校	2人	2人		0人

上記への対応

	府費講師	市費講師
	臨時免許で対応	支援員等配置
小学校		14人
中学校	1人	

  

2024年 病休状況		
	病休1か月以上 (精神疾患内数)	
小学校	33人	14人
中学校		

7/20(日)参議院選挙 教職員も積極的に投票、意思表示で

## フェイクやヘイト、力による支配でなく、未来の平和と暮らしを

ヘイトやフェイクではなく、社会の一員として民主主義を支えることが重要に

7月20日(日)にこれからの私たちの暮らしや日本の未来を大きく左右する参議院選挙が実施されます。多忙でテレビ・新聞さえ見る暇もなく、政治の動きに関心を向ける余裕すらない毎日ですが、給特法改定のように、政治、国会で我々の仕事、働き方が大きく左右されます。

中には多忙で「選挙に行ったことがない」という先生たちの声さえ聞かれますが、市民の正当な権利、社会の一員として積極的に投票や意思表示をすることは、近年ヘイトやフェイク情報でゆがめられがちな動きを押しとどめ、民主主義の社会を支えていく重要な一人一人の役割となっています。

### 給特法改定、現場の教職員の声を取り上げて対応してくれたのは……

6月に50年ぶりに、「働かせ放題」の教員待遇の見直しのチャンスだった給特法の見直しは、わずかな手当の見直しなどにすり替えられ、「働かせ放題」が継続させられるものとなってしまいました。

国会の論議では、現場の先生が大変と訴えながら、最後はいつの間にか「強制力、保証のない修正案」で多くの議員が賛成に回っていた一方、最後まで現場の声をていねいに大臣になげかけ、抜本的な見直しを求めていた議員もいたことは記憶に新しいところです。

### 物価高騰、増えない給与、重い税・社会保障に

#### 消費減税、給付？ 国債で、社会保障削減で、大企業課税で？

異常な物価・米価の高騰、増えない給与の一方で税負担や年金・健康保険の社会保険料負担に多くの国民の怒りは限界にきています。これに、多くの政治家も減税、給付をのきなみ唱えているのが今の特徴です。

しかし、減税、給付を唱えるのとセットで、高齢者と若者とを意図的に反目させて、我々や家族の医療を大幅に削減を進め、結果として生活を困難に追い込まれる懸念もぬぐえません。

また、減税、手取り増をやすと若者の支持を集めながら、ここ1・2年で急速に支持を拡大する政党も、国債を増やす借金財政を拡大する政策で、日本の経済、財政を困難にしかねないことも指摘されます。

実は、アベノミクスで法人税を大きく引き下げられた大企業の業績は史上空前の利益を上げています。貧しい生活に困る大多数の国民からの税に頼るのか、利益を上げ、内部留保を拡大させているところから社旗全体を支える税・社会保障を負担してもらうのか、健全で持続可能な仕組みはどちらなのでしょう？

### ウクライナ、ガザ、イラン攻撃で世界はどうなる、日本も積極的に武力攻撃、？

#### アメリカ言いなり、力の強いものに従うのではない、国際法、公正な世界の平和

長引くウクライナ、ガザへの攻撃、イスラエル、アメリカによる、明らかな国際法、国連憲章に反するイラン核施設への先制攻撃。世界は力のあるものがルールを無視しても許されるような動きが広がっています。

この中でもガザではイスラエルの封鎖、激しい攻撃で、多くの住民が飢餓状態の中で砲弾の攻撃にさらされ、命を失っています。

この中で、日本政府はイスラエル、アメリカの行動に理解を示し、アメリカの要求で敵基地攻撃兵器など大規模で異常な防衛力拡大、自衛隊をアメリカ軍と一体化、積極的に戦場に立たせる政策に従っています。

たとえその時「強い国」も、そのうち衰えていくのは歴史の教訓です。力や武力で世界や多くの国を従わせることは、力で物事を決する世界にしてしまいます。

今必要なのは、力による支配ではなく、国際法、国連憲章を世界に根付かせる日本としての外交です。

## 大教済 Summer Party 7/19日(土) 18:00

### モガ・ジョガ ダイニング (枚方公園駅すぐ)

#### 大教済、総合共済加入者は2000円でイタリアン+フリードリンク

大教済に加入していただいている皆さんに、日頃の感謝を込めて、大教済感謝祭を開催したいと思います。加入している人なら誰でも2000円でお料理と飲み放題のドリンク

を楽しめます。この機会にぜひ参加してください。

ただし、先着30名となっていますので、

お早めにお申し込みください。

申し込みQR

